



二〇一五年  
早春号

2015年、皆様明けましておめでとうございます。昨年を振り返ってみますと、われわれ山本工務店はじっくりと静かに力をためる充電の年であったように感じます。思い通りの華々しい効果は手に入りません

でしたが、それもまた新たな年に向けての大切な一幕。充電した力を大切に使用してゆくためにも初心を思い出して歩みはじめたいと思っております。どうぞ本年も宜しくお願いたします。山本光男

役にたっておもしろい地域と住まいの情報源

2015年1月1日発行

<http://www.reformyamamoto.com/>

ハイ! High Réforme

(有)山本工務店 NO. 22

〒175-0082 東京都板橋区高島平7-1-1 TEL03-3979-3401

E-mail yamar@zmail.plala.or.jp



# リフォームの現場から お客様の「声」 頂きました!

新春のレフォルム・ハイは少し目先を変えて、われわれ山本工務店にて住まいのリフォームをさせていただいたYさんにお来し頂き、お客様の声をインタビュー形式にてお届けです。Yさんは、練馬区石神井にお住まいのリタイア世代。



Yさん、今日はよろしくお願ひします!

Y こちらこそ、よろしくお願ひします。私の話で参考になるのかな?

K もちろん、興味津々です。ええっと、リフォームを行ったのが、2013年の夏だそうですね。それはちよつと変わった経緯があったとか。それをうかがってもいいですか?

Y ええ、実は私の現在の家は一戸建てなんです。2013年まで、私はその家を借りて暮らしていたんです。妻と2人でね。

K そうですね。それは2013年までは借家、それ以降はYさんの持ち家となられたってことですか?

Y そう、一戸建ての1階に1世帯、2階に2世帯の借家形式で、私はその1階に妻と2人で暮らしていたんです。そうしたら、ちよつと、2階が空きまして、「いつそ、この家を買わないか?」と、大家さんから持ちかけられたんです。

Y そうです。ですから、キッチンとトイレは1つは残してあとは部屋に改造して喜んでますよ。

K いいなあ! わたしなんか、実家で父の作業場の隅っこを陣取って自分のスペースにしてたんですよ。肩身狭かった〜。

Y いい思い出じゃない、それも。まあそうですね、と、いけない脱線脱線。

K で、いよいよ山本工務店のリフォームの感想を頂きたいのですが、その前に、Yさん別の工務店を紹介されたそうなんですが、そこ契約しなかった理由をうかがってもいいでしょうか?

Y いや、契約もなにも、来てくれないんですもの。見積もりも、いつこうに出してもらえなくて、ちよつとあかないんです。

K お願ひしたにも関わらず?

Y そうです。こちらは大家さんの紹介で、われわれ夫婦が借りる前に天井のリフォームをした会社なんです。その工事もなんだか頼りなくて、天井もはがれが出ていたんです。

K でも私、世俗には万事疎い方で、世話になった大家さんの紹介なら、と思いついて見積もりをお願ひしたんですが、「すぐうかがいます!見積もりも直ぐ出します!」と、やたら弁舌さわやかで愛想はいいんですが、さっぱり来ないし、連絡も何もなし。世俗に疎い私ですが苦手でして「巧言令色すくなく仁」というタイプ。

K むずかしい熟語ですね。上っ面はいいけど中はスカッてことですか?

Y まあそうですね。あと熟語じゃなくて、ことわざ

K 大丈夫? インタビュー(笑) すみません! がんばります。と、なるも山本工務店はそうではなかった。

Y 真逆。山本さんは知人を介して知ってはいましたが、仕事は直接関わったことはなかったんです。でも「巧言令色」とは違う人柄だろうと漏れ聞いていたし、とりあえず見積もりだけでもお願ひするかと、思いまして電話したら、あつという間に社長が参上ですよ。

K あつという間に。どこかで見てたんでしょう。

K それは怖いから。冗談です。社長1人で来たんですか?

Y いや、女性の設計士の方も一緒だったな。すごくお世話になったんだよ、彼女には。

K それはSさんだね。

Y そうそう、Sさん。彼女が直ぐにリフォームのプランを作ってくれて、それから現場の職人さんも後日来てくれました。

K 社長いわく、築年数が経った家は開けてみないと解らないことが多から、職人と設計のタッグでやるのがいいんだということだね。巧言なしに大事なことを率直に言い合つて前に進んでいく印象を持ちました。

K おつしやるとおりです。そのようなケアがあったからこそ昔ながらの職人気質も現場も生きてくるんですよ。

Y 山本工務店もSさんが入社し1つ弱点を克服した感ありなんです。実質の工事や現場はいかがでしたか?

K ええ、塗装やメーカーの方や庭師の方や、外構工事の専門業者など様々です。環境住宅プロジェクトという、チームもあるくらいです。

Y そう、それぞれ。そんな業者さんが入るときでも山本工務店の社員の方が朝一で必ず現場に来てくれて、安心感がありました。

K 妻や孫息子しか家に居なくても、仕事を頼んで来て私にはそこにすぐ感謝しました。

Y ああ、山本工務店がナシのつづいででしたから。

K おいおい(笑) でも、今の生活には満足です。新しい部屋が自慢なのか孫息子の友人がしょっちゅう遊びに来て賑やかなのも楽しめなかつた部分もありましたが、リフォームで確かに新しい喜びを手に入れました。



山本工務店は産学連携でリフォームに取り組みます。山本工務店は、日本工業大学成田研究室との連携で、リフォームに取り組んでいます。気密性・温度・湿度などを測定、診断。さらに、施工後も工事の効果を検証測定・診断・検証は、産学連携で無料です。快適なお住まいと、お財布にも地球にも優しい暮らしを提案します。

産学連携のパートナー：日本工業大学。日本工業大学工学部教授の成田健一先生をはじめ、三坂育正先生・樋口佳樹先生のご協力、ご指導の下に皆さまの暮らしと環境に貢献いたします。



## Spotlight

### 本文登場 Sさんこと 鈴木和子さんを紹介します!



山本工務店には2013年5月入社です。とはいっても様々なお仕事経験者。設計事務所でも働いていた時に一念発起して独学で取得した建築士の資格が生かせ、前向きに仕事に取り組んでいるそうです。

山本工務店では、設計・現場の他、安全面の管理も担当。ふわり天然ボケの印象とは裏腹に、職人さんたちの安全面の慢心や安全カードの不携帯には、厳しい「サリバン先生」キャラに変身。

仕事の上で大切にしていることは、お客様のお話をとことん聞いて「その方にとつての快適さとは、何なのか?」を探すこと。

最後に、もしも全ての条件を自由に住まい造りをするとしたらどんなお家を建てますか?の質問に答えて...

「自由な夢の住まいより、ある程度の制約があった方が想像力が広がるタイプです。広さや部屋数よりも、明るくリラックスして住めることが優先。『人』が住まいに負けているような印象の暮らしは、どんなに贅を尽くしてあっても心ひかれませぬ。お客様にもほつとしてもらえるような明るさがあり、木は無垢材にこだわりたい。『すこーい。贅沢!』という反応より『いつのまにかリラックスしちゃった。』という感想をいただけたことが、私にとっては一番大切です。」

## 裏話先生と れ語



Q レンロー、正月だし花札でもやりましょうよ。

A 「花札? はあ、お正月はいいなぞれが。」「コイコイ? カブ? インディアンボーイなんてのもあります!」と、やたら弁舌さわやかで愛想はいいんですが、さっぱり来ないし、連絡も何もなし。世俗に疎い私ですが苦手でして「巧言令色すくなく仁」というタイプ。

Q お正月はそんな花札をやるんですか?

A はい。お正月はそんな花札をやるんです。お正月はそんな花札をやるんです。お正月はそんな花札をやるんです。

Q 先生、この縁起物か知つておるか? アナキーな人生でよろしく?

A はい。お正月はそんな花札をやるんです。お正月はそんな花札をやるんです。お正月はそんな花札をやるんです。



# ドロクまで

車いすアスリート 見聞録

## 行って来たん？ 見て奇譚？



ぼくも私も、あつという間に40人ほどのこと  
もたちが防災頭巾を手に列を作っていました。「給食の時間だから教室に戻りなさい」という先生の指示も聞かず並び続けることもたち。私はひたすら防災頭巾や名札の裏、クチャクチャに畳まれた何かの紙の切れ端にサインをしました。サインを貰いながら、いくら稼いでいますか？と聞く子や、プロではないのでアーチェリーそのものではない稼いでいません、結婚してますか？と聞く子も。「してません」と答えると「良い人が見つかるといいですね」とマジメな口調で返されました。「コラ、失礼だぞ」と先生は叱りますが「いえ、大事なことです。からねえ」と私。パワーを与えているのか吸い取られているのか分からない、楽しくも大騒ぎな時間です。

小さなメモ帳に「もつ一枚」「もつ一枚」と計3枚のサインを持って帰った女の子や、着ているシャツにサインしていつ男の子も。「家の人に

怒られない？」と聞くと「大丈夫！」と自信のある返事。まあ、洗えば消えるかな？私のサインなんて値打ちが出るものではないですから、ごどもたちには「サインして貰った」という思い出が残れば良いと思っています。私がサインした防災頭巾は今ごろ教室でみんなのお尻の下に敷かれていることでしょうか…。

障害があつたお陰でアーチェリーを始め、そのお陰で小学生と交流したり、遠征に行ったり、たくさんの人と出会って来ました。このコラムは「どこ行って来たん？見て奇譚？」ですが「会って来たん？」でもあると思っています。今年もたくさんのお会いがあり、みなさまにお届けできますように！

(ひらさわ なこ)



▲アテネの銅メダル (左)と翌年の世界選手権の大理子製白い金メダル。ごどもたちには必ず見ていただいています



ごどもたちから「アスリート」の紙あそび

「Inako」とサインをしました。そうしたらもう大変、年に何回か学校でお話する機会をいただきます。運動とは無縁だった私が偶然アーチェリーと出会い、アスリートになってしまった現在に至るまで、アテネ・パラリンピックの話題を中心に写真上映やアーチェリーの道具の説明を交えて話します。ごどもたちはいつも熱心に聞いてくれますが、ときには無邪気さが炸裂することもあります。先口伺った小学校でのこと。お話を終えりやパソコンを片付けていると、ひとりの男の子が「サインしてください」とやって来ました。急に思いついたのでしよう、差し出したのは鉛筆と、座布団として使っていた防災頭巾。鉛筆じゃ書けないでしょ、と私もよせば良いのを持っていた油性ペンを出し、防災頭巾の隅に



▲ごどもたちはいつも元気いっぱい



▲学校でいただく給食も楽しみのひとつ

スカイツリーが間近に見える学校へ行ったごども



ひらさわ なこ  
1972年生まれ。埼玉県在住。  
手足に先天的な障害があり車いすを使って生活。24歳でアーチェリーと出会う。2004年アテネパラリンピック銅メダリスト。(株)アクト・テクニカルサポート所属。  
今年はいよいよリオ・パラリンピックに向けての激戦が始まります！

今年もたくさん笑顔が作れますように！

■お知らせ掲示板■

地域選りすぐりの品々に会える♪

■お告知 すがも

## すがもビジネスフェア 第12回 「四の市」に出店します！

● 日時 2015.4/24(金) 9:45~15:00

● 会場 巢鴨信用金庫本店 3F ホール  
・東京都豊島区巢鴨2-10-2  
・JR山手線、都営三田線「巢鴨」駅より徒歩2分

● バリアフリー・地震対策商品や布の炭グッズの紹介・販売  
※住まいのお悩み何でも相談受け付けます

レフォルムハイを持ってご来場の方先着 20名様に粗品進呈します！

YAMAMOTOYAMAMOTO

山本工務店は1972年創業。高島平に根を下ろして以来、地域密着で街の頼れる工務店を目指して参りました。当紙『レフォルムHigh』の『レフォルム』の名称は、長年使用している深い思い入れある言葉です。『High』は英語の『高い』という意味と、ハイレベルのサービスの提供とより高みを目指そうの精神、そしてお客様の呼びかけに『ハイ』と答えて対応する当社の精神を表したくつけたものです。

《山本工務店》

YAMAMOTOYAMAMOTO

編集後記

藤田嗣治の「秋田の行事」を見ました。格調高く美しい。日本の田舎の風物が描かれているのに、まだ見ぬ「楽園」のようでした。はあああ、またがんばるか。

ジョージ・雪正宗

春先の川辺に見かけるネコヤナギの花は、フワフワで銀の綿のよう。かわいらしく大好きです。でも、昨年5月に育ちきった花々がケムシの大群に見えるのを発見しビックリ！いのちってスゴイ。

ワタナベ・菊正宗

レフォルムハイは、山本工務店より日頃のお客様の御愛顧に對するお礼の気持ちから生まれたミニコミ紙です。ネタやご質問などお気軽にお寄せください。

次回は4月に新緑号をお届けいたします。

《砂絵工房》

ki8ki19@nexyzbb.ne.jp